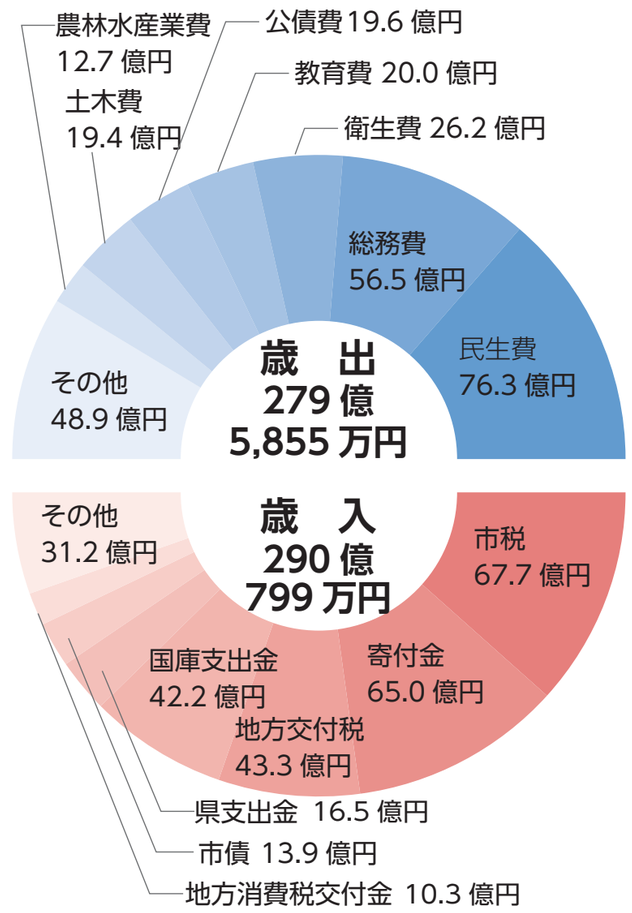
10分でわかる 令和3年度決算

決算とは、1年間の収入と支出の総実績を明らかにすることをいいます。どれくらいの収入があり、市民の皆さんが納めた税金はどのような目的で使われたのか、令和3年度決算を一般会計を中心に紹介します。

問合先：財政課☎㊷8710

1 一般会計の内訳



ポイント1
- 子育て給付（補助）金　**6億1,000万円**
- 新型コロナワクチン接種費用　**4億8,000万円**
- 水道料金6カ月間減免　**3億円**

ポイント2
令和3年度もふるさと納税（寄付金額）が好調であり、全国12位の64億6,000万円でした。
（昨年度：53億4,000万円）

【歳出】用語解説

- ◉民生費…高齢者・障がい者・子どもの福祉等
- ◉総務費…戸籍、徴税、防犯対策等
- ◉衛生費…健康の保持、ゴミ・し尿処理等
- ◉教育費…学校教育・施設整備等
- ◉公債費…借金の返済や利子の支払い等
- ◉土木費…道路、市営住宅の維持管理等
- ◉農林水産業費…農業振興、山林の管理等
- ◉その他…消防・商工・労働・議会等

【歳入】用語解説

- ◉市税…市民税、固定資産税等
- ◉寄付金…ふるさと納税等
- ◉地方交付税…地方財源を調整する国の交付金
- ◉国庫支出金…使いみちを限定された国の交付金
- ◉県支出金…使いみちを限定された県の交付金
- ◉市債…市の借金
- ◉地方消費税交付金等…消費税のうち地方分配金等
- ◉その他…各種交付金、繰越金、使用料等

令和3年度 主要事業トピックス

「アスも」整備
1億9,247万円（総務費）
子どもの遊び場とテレワークセンターを併設

「sora かさい」整備
3億6,823万円（土木費）
紫電改、九七式艦上攻撃機などを展示する、地域活性化拠点施設

こども医療費助成事業
7,303万円（民生費）
7月以降、中学3年生までの医療費無料を高校3年生まで拡大

古坂・谷線拡張工事
9,532万円（土木費）
中国自動車道沿いの車線を拡張（タウンミーティング要望事項）

2 歳入歳出の決算状況

令和3年度の一般会計の決算額は、歳入290億799万円、歳出279億5855万円で差し引き10億4944万円の黒字となりました。特別会計はすべて黒字でした。企業会計は、水道事業で黒字、下水道事業は過去に多額の投資をしたため赤字、病院事業会計は、外来診療報酬や国補助金による歳入増、給与費などの経費削減による歳出減により11億5601万円の黒字になりました。

会計種別		歳入	歳出	収支
一般会計		290億799万円	279億5,855万円	10億4,944万円
特別会計	国民健康保険	51億1,508万円	49億8,213万円	1億3,295万円
	介護保険	51億4,374万円	49億8,521万円	1億5,853万円
	後期高齢者医療	7億450万円	7億30万円	420万円
	公園墓地整備事業	2,188万円	289万円	1,899万円
	産業団地整備事業	9億3,065万円	7億5,250万円	1億7,815万円
企業会計	水道事業	11億3,154万円	10億9,729万円	3,425万円
	下水道事業	19億5,248万円	22億2,933万円	△2億7,685万円
	病院事業	63億5,211万円	51億9,610万円	11億5,601万円

ポイント3

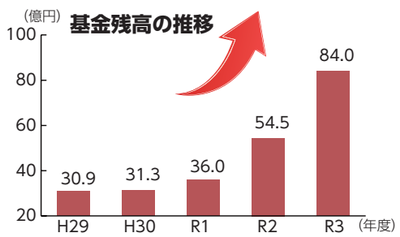
市に入ったお金（歳入）290億799万円 － 市が使ったお金（歳出）279億5,855万円 ＝ 歳入歳出差引額（形式収支）10億4,944万円

歳入歳出差引額（形式収支）10億4,944万円 － 翌年度繰越財源7,979万円 ＝ **実質収支（黒字）9億6,965万円**

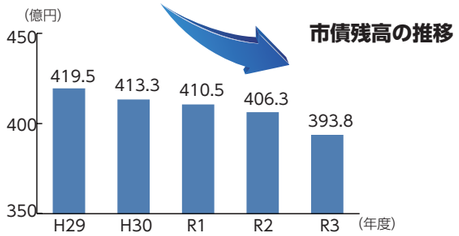
形式収支と実質収支
形式収支は、歳入から歳出を差し引いた額、実質収支は、形式収支からさらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

3 貯金と借金

基金残高（貯金）と市債残高（借金）の状況



令和3年度末の基金（貯金）の残高は、前年度末より29億5,000万円増加し、84億円となりました。



令和3年度末の市全体の市債（借金）の残高は、前年度末より12億5,000万円減少し、393億8,000万円となりました。

4 財政の健全性

● 財政の4つの健全化判断比率

	令和3年度決算	早期健全化基準（イエローカード）	財政再生基準（レッドカード）
実質赤字比率（普通会計の赤字額から財政運営の深刻度）	赤字額なし（△7.93%）	13.00%	20.0%
連結実質赤字比率（全会計の赤字額から財政運営の深刻度）	赤字額なし（△35.72%）	18.00%	30.0%
実質公債費比率（借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度）	8.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率（市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度）	4.5%	350.0%	―

ポイント4
財政の健全化を判断する上の4つの比率については、国が定める基準を大きく下回っており、加西市は全て「健全」でした。